



令和7(2025)年度 北九州市立図書館の事業評価 (上半期分)

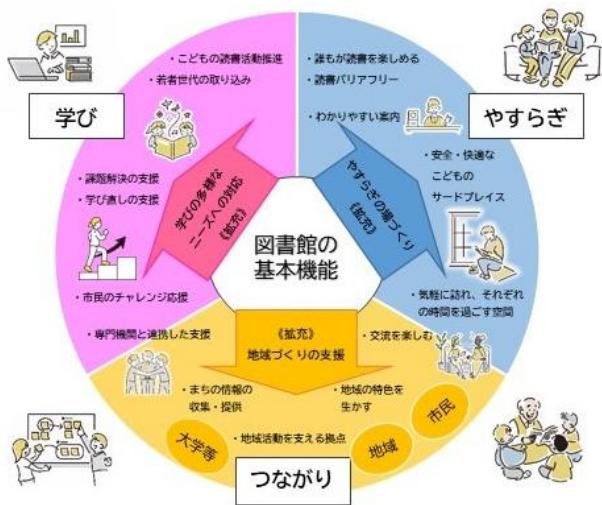
令和8年1月
報告者：北九州市立中央図書館

1

北九州市立図書館基本計画について

北九州市立図書館は、「学び」、「やすらぎ」、「つながり」という3つの場の創造を通じて、図書館の機能や役割を拡充させ、市民の心豊かなときの創造を目指します。

- 計画期間
令和7年度から令和22年度まで
- 目指す姿
学び、やすらぎ、つながる図書館



2

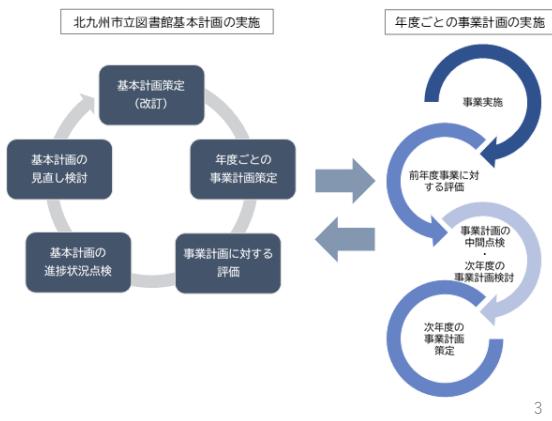
北九州市立図書館の事業評価

● 事業評価について

図書館法第7条の3の規定に基づき、市立図書館全体の評価を実施し、図書館運営の改善を行うことで、市民にとってより身近な図書館を目指し、その利用を促すものとする。

➢ 図書館法（平成20年6月改正） (運営の状況に関する評価等)

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。



3

令和7年度の事業目標

令和7（2025）年度は、取組の初年度として、市民の図書館に対するイメージを拡げていくための取組に注力します。

また、図書館の新たな取組を広く周知するためのPRを行うなど、より多くの方に図書館を利用していただけるよう、図書館サービスの充実に努めます。

- 市民や地域の関係各所と**連携**し、学び・チャレンジ・交流といった市民の様々なニーズに応じた資料の収集、講座やイベントの開催などを行います。
- 図書館が市民にとって過ごしやすい場所となるよう、**空間づくりを工夫**します。
- 図書館の取組について広報を行い、市民の**来館・利用を促進**します。

4

令和7年度の重点取組

- 市民の学びや課題解決のための講座開催（**基本目標1－1**）
- ビジネス支援のための講座開催（**基本目標1－3**）
- 中央図書館開館50周年を記念したイベント・展示（**基本目標2－2**）
- 来館・図書館利用促進のためのPR（**基本目標2－2**）
- 市民が過ごしやすい空間づくり（**基本目標2－3**）
- 地域の様々な団体等と連携したイベントの開催（**基本目標3－2**）

5

令和7年度目標値：基本計画における成果指標

- | <指標> | <令和7年度目標> |
|-------------------|----------------------------------|
| ●利用登録状況 | {
令和5年度実績以上
... 90.0%以上を維持 |
| ●読書好きな児童生徒の割合 | |
| ●レファレンス件数 | |
| ●アクセシブルな書籍等の点数 | |
| ●ボランティア活動延べ人数 | |
| ●市民や各種団体等との連携事業件数 | |
| ●利用者アンケート（満足度） | |

6

令和7年度の取組：基本目標1

基本目標1 学びを支え、豊かなときを創造する図書館

取組方針	主な取組内容
1 市民の学びと課題解決の支援	✓ 市民の学びや課題解決のための講座開催 [重点]  ✓ 郷土に関する資料の充実
2 こどもや若者の読書活動の推進	✓ こども・若者の意見を取り入れた選書 ✓ こども向けのイベント・講座の開催  ✓ 幼稚園・保育園、学校図書館と連携したこどもの読書活動の推進
3 市民のチャレンジへの支援	✓ ビジネス支援のための講座開催 [重点]  ✓ 行政支援・ビジネス支援等に関する資料の充実

8

市民の学びや課題解決のための講座開催【重点】

市民の学びのための講座等を開催

- 郷土文化講演会の開催（中央）
4回開催、累計315名参加（令和7年9月末時点）。
- 図書館を使った調べる学習講座の開催（中央、門司、八幡）
中央は大人、門司・八幡はこどもを対象に実施。
- 図書館英語講座（戸畠）



[成果]市民の学びを支援するため、さまざまな視点から講座等を定期開催した。

課題解決のための講座等を開催

- 認知症にやさしい図書館講座・セミナー等（門司、小倉南、八幡）
認知症を正しく理解するための講座や交流会、体験会を開催。
- 防災講座（小倉南）
- ゲートキーパー養成講座（八幡）
- スマートフォン活用講座（門司）

[成果]講座等の開催により、市民や地域が抱える課題解決を支援することができた。

9

ビジネス支援のための講座開催【重点】

起業に興味がある方を対象にしたセミナーを開催

● スタートアップ支援セミナー（中央）

中小企業支援センターと連携し開催。

35名が参加、うち8名が中小企業支援センターへの相談に繋がった。さらに、2名は実際に起業に至った。※令和7年12月時点

[成果]関係機関と連携し、図書館利用者の「起業したい」という潜在的なニーズに応え、ビジネス支援を行うことができた。



10

先進事例に関する講座を開催

● ビジネス支援講演会（中央）

市民・職員を対象に札幌市図書・情報館の「仕掛け人」浅野隆夫氏を講師に講演会を開催。松本清張記念館館長を迎えたクロストークも実施。55名が参加。

[成果]他市の先進事例を知り、図書館の新たな可能性について理解を深めることができた。文化施設間の連携により、文化・情報資源の活用・提供が実現した。

子ども向けのイベント・講座の開催

読書に関連したイベント・講座を開催

● 中学生ビブリオバトル講習会（子ども）

ビブリオバトルへの理解を深めるため、公式ルールによる講習会を開催。

● 北九州市中学生ビブリオバトル大会（子ども）

中学生23名参加。大会後、チャンプ本を館内展示で紹介。

● 読書感想文書き方講座（小倉南、若松、八幡、八幡西ほか）

● 読み聞かせ会・おはなし会（各館）

英語読み聞かせ会、人形を使ったおはなし会、エプロンシアターなど

● こども向け出前講座（各館）

[成果]工夫して子どもの読書活動を推進するためのイベント等を実施できた。



11

図書館に親しむためのイベント等を開催

● ぬいぐるみのおとまりかい（門司）

● 工作ワークショップ（各館）

[成果]読書に限らず、子どもが図書館で楽しめるイベントを実施した。

令和7年度の取組：基本目標2

基本目標2 誰もが利用しやすく、やすらげる図書館

取組方針	主な取組内容
1 図書館の基本機能の充実	✓ 電子図書館の充実 ✓ 図書館が提供する資料の種類拡大 
2 利用者への支援と裾野拡大	✓ 図書館を使いこなすためのイベントの充実 ✓ 中央図書館開館50周年を記念したイベント・展示 重点  ✓ 来館・図書館利用促進のためのPR 重点 
3 「やすらぎ」と「交流」の場づくり	✓ 市民が過ごしやすい空間づくり 重点  ✓ ネットワーク (Wi-Fi) 環境の充実

15

中央図書館開館50周年を記念したイベント・展示【重点】

開館50周年記念ロゴの活用

- 開館50周年記念ロゴを作成し、広報などに活用した（中央）



開館50周年を記念した企画展示を実施

- 中央図書館50年の歴史を振り返り、開館当時からの写真等を展示（中央）
- 毎月、設計者：磯崎新氏に関する書籍等を特設展示（中央）



市政だよりに特集記事を掲載

- 市政だよりに開館50周年を記念した記事を掲載
中央図書館の開館50周年を記念して、リニューアルを行ったエントランスをはじめ、様々な取組を広く市民に紹介した。

[成果]開館50周年を契機に、取組を広く知らせることができた。

16

来館・図書館利用促進のためのPR【重点】

来館者へのわかりやすい案内

- モニター、デジタルサイネージの活用（中央・八幡）
エントランスモニター等を活用して、雑誌スポンサー募集や図書館のイベントについて来館者へ知らせた。
中央図書館では、新着図書の中からおすすめ本を紹介した。



さまざまな媒体を活用した広報活動

- 市政だより「図書館職員の書籍紹介」、中央図書館開館50周年特集記事掲載、SNSでのイベント情報発信（中央）
- 図書館の行事を市政だより、ホームページ等で発信（各館）
- ラジオでおすすめ本を紹介（若松・戸畠）
- 図書館だよりの配布（各館）
毎月作成し、地域（近隣学校や市民センター、商店街等）に配布等した。

[成果]案内のわかりやすさの向上や広報の広がりを図ることができた。



17

市民が過ごしやすい空間づくり【重点】

図書館のレイアウト変更

- エントランスリニューアル（中央）
エントランス部分にソファやブックトラックを設置。トイレを明るい雰囲気に模様替えするなど、利用者が過ごしやすい空間づくりに努めた。
- 書架の移動（中央・若松）
- 「赤ちゃんのおへや」の整備（門司）
視聴覚室にマットを敷き赤ちゃん絵本を設置するなど、赤ちゃんと保護者が気兼ねなく過ごせる空間づくりに努めた。

[成果]レイアウトの変更により、図書館での過ごしやすさの向上を図ることができた。



18

図書館が提供する資料の種類拡大

提供する資料の種類拡大

● 番組アーカイブネットサービスの開始（中央）

過去のテレビ・ラジオ番組が館内のインターネット閲覧端末で視聴できるサービスを開始した（九州初）。図書館ホームページへの掲載やニュース報道などにより、サービス開始について周知した。

[成果]新たなコンテンツの追加により、利用者ニーズへの対応を図った。



さまざまな資料の収集・提供

● 外国語資料の収集・提供（中央ほか）

● アクセシブルな書籍等の収集・提供（中央ほか）

市民が自分に合った方法で読書を楽しめるよう、外国語資料、大活字本、電子書籍など、さまざまな資料を引き続き収集・提供した。

● 「読書の入り口」としての漫画の収集・提供（子どもほか）

子どもの読書のきっかけとなるよう、寄贈等により一部コミック本を収集・提供した。

[成果]引き続き、多様なニーズをもつ市民にさまざまな資料を提供することができた。

19

令和7年度の取組：基本目標3

基本目標3 多様な主体とつながり、共に成長する図書館

取組方針	主な取組内容
1 市民との協働	✓ 図書館におけるボランティア活動の充実  ✓ 市民団体等との連携
2 地域との協働	✓ 地域の様々な団体等と連携した展示 ✓ 地域の様々な団体等と連携したイベントの開催  

23

地域の様々な団体等と連携したイベントの開催【重点】

近隣文化施設等との連携

● 4施設周遊スタンプラリーの実施（中央）

中央図書館近隣の文化施設と連携し、入館してスタンプを押すと記念グッズがもらえるイベントを実施した。中央図書館で76枚の台紙配付（9月末時点）。

● なぞときラリーの実施（子ども）

書店主催の「なぞときラリー in 小倉」のチェックポイントの一つとしてクイズを出題。

[成果と課題]普段は図書館に来ない市民や遠方からの来館者を迎えるきっかけになった。一方で、効果的なPR方法の検討が今後の課題。



24

大学等との連携

● 自分本棚ワークショップ（中央）

北九州市立大学主催（図書館共催）のワークショップ型イベントを開催し、参加者選定の本を箱に入れて装飾し「自分本棚」を作成。成果物を図書館で一定の期間展示し、貸出した。

[成果]参加者が本を選ぶ楽しさを再発見するだけでなく、展示により図書館利用者に対しても新たな本との出会いを創出できた。

図書館におけるボランティア活動の充実

図書館ボランティアの活動内容の拡充

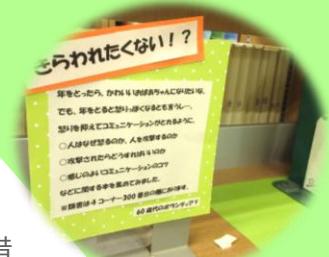
● ボランティアによる装飾作成（中央）

図書館ボランティアの力を借りて七夕飾りを作成し、館内に設置した笹に飾り付けた。

● ボランティアによる本の紹介（中央・子ども）

図書館ボランティア・ジュニアサポーターによるおすすめ本の紹介コーナーを設置、展示した。6名参加（上半期）。展示の本がよく借りられるなど、利用者にも好評。

[成果]ボランティアの活躍機会を拡充し、新たなやりがいを提供できた。



25

読み聞かせイベントの充実

● 読み聞かせボランティアによるおはなし会

（門司・小倉南・若松・八幡西・曾根・島郷）

読み聞かせボランティアの力を借りながら、子ども・大人向けのおはなし会・朗読会を継続的に実施した。



[成果]ボランティアの力を借り、図書館の取組を継続的に充実させることができた。

令和7年度の取組：基本目標4

基本目標4 未来につなぐ図書館

取組方針	主な取組内容
1 図書館が有する資源の有効活用	✓ 資料の収集・保存・デジタル化 ✓ 職員研修の充実
2 効果的・効率的な運営	✓ 図書館の館内整理日の見直し  ✓ 雑誌スポンサー制度の継続活用 

28

図書館の館内整理日の見直し

館内整理日の見直し

● 利用者サービス向上のための館内整理日の見直し（全館）

令和6年度まで：館内整理日（=利用者にとっての休館日）は、日・祝を除く月末日
令和7年度以降：館内整理日の設定を見直し、利用者サービスの向上を目的に、土曜日
も館内整理日の対象から除外した。

[成果と課題]利便性は向上したが、利用者に混乱が生じないための適切な周知が必要。

29

雑誌スポンサー制度の継続活用

雑誌スポンサー制度の継続活用

●雑誌スポンサー制度継続・スポンサー拡大のための取組（中央ほか）

令和6年度に開始し、引き続き、関係各所への広報活動などを行った。

令和7年度スポンサー10団体、10館へ29冊（令和7年12月時点）

[成果と課題]令和6年度と比べてスポンサー数が3增加（辞退2、新規5）。

出版物の価格高騰の中、市民へ提供する資料を確保すること

ができた。今後も制度の継続・拡大を目指し、多方面への周知等が必要。



30

今後の取組（令和7年度下半期）

令和7年度下半期に中央・子ども図書館で予定している取組

- 郷土文化講演会【下半期も3回開催予定】
- スタートアップ支援セミナー 第2弾【予定】
- 子どもの意見を取り入れた選書【済】
- 町田そのこ氏による講演会【済】
- 中央図書館照明LED化工事【施工中】
- 大学との連携 第2弾【済】

31